

第Ⅱ期リサイクル館かしはら長期包括運営委託事業  
要求水準書・別紙一覧

別紙1	特定部品のリスト
別紙2	ごみ搬入量実績及び計画処理量
別紙3-1	処理対象物の計画値（発注仕様書計画ごみ質）
別紙3-2	資源物回収率・純度の調査結果（精密機能検査報告書より）
別紙4	貸与機器リスト
別紙5	各種計画書等の内容
別紙6	現行の清掃等作業基準表
別紙7	市が実施する環境計測
別紙8	事業に係るリスク分担
別紙9	本件施設の主な法定点検とその直近実施時期
別紙10	本件施設における人員配置一覧
別紙11	事業担当課以外の居室利用

別紙 1 特定部品のリスト

特定部品リスト

設備名	装置名	(機器名) 部品名	調達期間 (参考)
不燃ごみ 資源化設備	カレット類自動選別装置		
	カレット類自動選別装置制御盤		
	ビン自動色選別装置 (サイズ選別機 1 基)		
	ビン自動色選別装置 (ビン整列機 2 式)	ベルト (ウレタン製ベルト) 各種ローラー、タイミングベルト (ゴム製)	1 ヶ月
	ビン自動色選別装置 (ビン自動識別機 2 式)		
	ビン自動色選別装置 (排出機 2 式)	3 T トレー (樹脂製)	3 ヶ月
		E リング (E T W - 4)	1 週間
		チェーン	1 ヶ月
		ナイロンチェーンレール (ナイロン製)	1 ヶ月
		ソレノイド (D C 2 4 V)	1 ヶ月
	ビン自動色選別装置動力制御盤 (1 式)	タッチパネル、シーケンサ (三菱)	1 ヶ月
その他 プラスチック 処理設備	プラボトル自動材質選別装置 (定量供給機 1 基)		
	プラボトル自動材質選別装置 (材質識別装置 2 式)		
	プラボトル自動材質選別装置 制御盤 (1 式)	タッチパネル、シーケンサ (三菱)	1 ヶ月

※ 1 調達期間は、発注から納品までの部品手配に要する標準的な期間を示す。

※ 2 上記特定部品を用いて施設の修繕等を行う場合、設備の性能維持のため、施工企業による施工を推奨。

## 別紙２ ごみ搬入量実績及び計画処理量

### 1. ごみ搬入量実績

月別搬入量の実績 (t)

#### 【令和元年度】

	不燃・不燃性 粗大ごみ	可燃性 粗大ごみ	カン・ビン	プラボトル	新聞	雑誌	ダンボール	合計
4月	95.06	166.87	75.50	10.29	65.65	29.67	33.09	473.13
5月	106.10	202.61	100.62	11.63	53.95	22.73	34.80	532.44
6月	87.96	175.59	76.95	14.83	51.60	15.76	31.56	454.25
7月	79.59	145.43	96.15	14.36	52.30	14.24	32.27	434.34
8月	86.30	145.06	83.82	17.24	59.26	16.39	34.66	442.73
9月	95.31	139.96	79.30	14.94	59.88	15.09	34.25	438.73
10月	98.05	148.96	88.87	14.22	55.13	14.02	33.62	452.87
11月	99.19	159.52	67.95	11.76	52.88	13.79	31.45	436.54
12月	145.73	174.90	78.32	12.12	65.73	22.55	40.90	540.25
1月	88.68	120.74	102.29	9.42	53.19	18.81	38.16	431.29
2月	83.89	130.91	72.79	9.09	51.40	16.28	28.45	392.81
3月	103.13	165.09	77.81	9.76	58.22	30.30	33.33	477.64
合計	1,168.99	1,875.64	1,000.37	149.66	676.19	229.63	406.54	5,507.02

#### 【令和2年度】

	不燃・不燃性 粗大ごみ	可燃性 粗大ごみ	カン・ビン	プラボトル	新聞	雑誌	ダンボール	合計
4月	107.87	174.94	100.77	10.33	62.70	35.62	39.35	531.58
5月	137.35	239.53	89.90	11.06	53.87	37.99	45.90	615.60
6月	104.82	176.59	81.74	13.35	47.76	19.61	38.59	482.46
7月	89.61	156.48	96.95	13.66	54.67	14.13	41.86	467.36
8月	89.79	149.08	83.59	16.39	60.41	17.12	46.19	462.57
9月	86.02	138.64	97.83	14.54	56.47	14.10	39.93	447.53
10月	101.91	161.89	71.33	13.51	61.10	14.15	41.65	465.54
11月	110.57	159.36	69.69	10.63	57.47	16.31	38.38	462.41
12月	126.76	181.11	98.30	10.44	64.80	21.16	48.65	551.22
1月	73.90	115.82	84.70	9.19	61.05	15.87	45.21	405.74
2月	80.86	137.53	74.10	9.69	48.98	13.49	36.55	401.20
3月	89.26	153.48	96.51	10.38	62.03	29.48	41.98	483.12
合計	1,198.72	1,944.45	1,045.41	143.17	691.31	249.03	504.24	5,776.33

【令和3年度】

	不燃・不燃性 粗大ごみ	可燃性 粗大ごみ	カン・ビン	プラボトル	新聞	雑誌	ダンボール	合計
4月	89.66	161.78	79.43	10.93	64.80	28.60	45.56	480.76
5月	88.35	173.35	84.68	12.72	57.63	21.18	45.32	483.23
6月	76.56	151.22	101.82	12.72	57.41	16.12	43.75	459.60
7月	77.64	130.19	81.04	14.06	54.09	13.36	43.51	413.89
8月	72.64	128.58	82.17	16.18	54.48	13.48	46.79	414.32
9月	75.71	138.67	101.94	15.90	60.61	15.13	46.73	454.69
10月	77.77	151.64	74.11	13.73	57.30	14.49	41.21	430.25
11月	84.56	165.16	71.40	11.52	52.55	15.36	39.62	440.17
12月	102.77	180.45	100.11	10.90	65.33	21.05	52.52	533.13
1月	69.67	126.07	85.19	10.45	58.07	14.23	46.09	409.77
2月	61.50	119.27	72.43	9.25	52.73	14.37	36.17	365.72
3月	78.81	153.30	95.67	10.21	59.43	22.31	42.69	462.42
合計	955.64	1,779.68	1,029.99	148.57	694.43	209.68	529.96	5,347.95

【令和4年度】

	不燃・不燃性 粗大ごみ	可燃性 粗大ごみ	カン・ビン	プラボトル	新聞	雑誌	ダンボール	合計
4月	76.81	158.49	75.70	12.24	60.48	25.11	48.82	457.65
5月	83.84	168.84	79.47	11.66	55.19	22.69	46.54	468.23
6月	65.14	149.03	95.10	13.83	53.84	15.95	42.75	435.64
7月	57.19	126.01	79.10	16.26	54.71	13.06	43.47	389.80
8月	67.29	129.22	102.77	17.14	54.20	13.55	47.17	431.34
9月	59.32	136.88	78.81	16.30	52.50	17.29	44.61	405.71
10月	67.68	156.80	72.31	13.76	48.06	17.41	39.82	415.84
11月	67.44	148.02	81.95	12.25	46.69	18.78	39.01	414.14
12月	88.05	164.85	82.21	11.26	58.15	23.88	47.34	475.74
1月	68.48	112.62	78.97	10.23	50.38	18.64	44.71	384.03
2月	50.86	111.46	71.11	8.66	39.34	13.98	32.75	328.16
3月	63.52	129.99	88.52	10.72	46.47	26.36	38.75	404.33
合計	815.62	1,692.21	986.02	154.31	620.01	226.70	515.74	5,010.61

## 2. 計画処理量

年度	計画処理量（t／年）			
	不燃・不燃、 可燃性粗大ごみ	カン・ビン・ プラボトル	新聞・雑誌・ ダンボール	合計
令和 6 年度	2,790	1,100	1,310	5,200
令和 7 年度	2,790	1,100	1,310	5,200
令和 8 年度	2,730	1,080	1,290	5,100
令和 9 年度	2,730	1,080	1,290	5,100
令和 10 年度	2,730	1,080	1,290	5,100
令和 11 年度	2,680	1,060	1,260	5,000
令和 12 年度	2,680	1,060	1,260	5,000
令和 13 年度	2,630	1,040	1,230	4,900
令和 14 年度	2,630	1,040	1,230	4,900
令和 15 年度	2,570	1,020	1,210	4,800
令和 16 年度	2,570	1,020	1,210	4,800
令和 17 年度	2,520	990	1,190	4,700
令和 18 年度	2,520	990	1,190	4,700
令和 19 年度	2,470	970	1,160	4,600

別紙 3-1 処理対象物の計画値（発注仕様書計画ごみ質）

1. ごみの種類

種 別	主な対象物	ごみの最大寸法 (m)
金属類	家電器具、スチール家具 自転車、缶等	1.2×2.5×1.0
不燃物	ガラス等、陶磁器等	0.5×0.5×0.5
可燃物	木材、畳、スプリング入 りマットレス、布団等	1.2×2.5×0.9

2. 計画ごみ組成

【不燃ごみ】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
金属類 (鉄類)	34	—
金属類 (アルミ類)	2	—
不燃物 (ガラス等)	34	—
可燃物 (木・紙)	30	—
合計 (平均)	100	0.20

【不燃性粗大ごみ】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
金属類 (鉄類)	52	—
金属類 (アルミ類)	3	—
不燃物 (ガラス等)	7	—
可燃物 (木・紙)	38	—
合計 (平均)	100	0.15

【可燃性粗大ごみ】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
その他 (畳、マットレス、 布団等)	100	0.10
合計 (平均)	100	0.10

【空き缶、ビン、カレット】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
空き缶	24	0.10
空きビン (生きビン)	8	0.25
カレット	68	0.20
合計 (平均)	100	—

【PETボトル】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
PET	90	0.04
その他	10	0.10
合計 (平均)	100	—

【プラスチックボトル】

種 別	重量 (%)	単位容積 (t/m <sup>3</sup> )
その他プラスチックボトル	90	0.03
その他	10	0.10
合計 (平均)	100	—

3. 選別物の純度及び回収率

【不燃・粗大ごみ選別設備】

選 別 物	純 度 (%)	回収率 (%)
鉄	95	90
不燃物	80	75
アルミ	90	70
可燃物	80	60

【カン・ビン選別設備】

選 別 物	純 度 (%)	回収率 (%)
鉄	99	95
アルミ	99	95
ビン・カレット	—	—

【カレット選別設備】

選 別 物	純 度 (%)	回収率 (%)
カレット (白)	98	85
カレット (茶)	95	90
カレット (その他)	90	60

【プラボトル選別設備】

選 別 物	純 度 (%)	回収率 (%)
ペットボトル	95	80
その他 (プラボトル)	90	80



別紙 3-2 資源物回収率・純度の調査結果（精密機能検査報告書より）

1. 資源物回収率調査結果

【令和2年度～4年度】

ライン別	種 別	回収率（％）		
		令和2年度 (年2回平均)	令和3年度 (年2回平均)	令和4年度 (年2回平均)
不燃ごみ ライン	鉄	99.20	98.10	98.93
	アルミ	57.74	50.51	50.95
	不燃物	62.80	57.71	61.64
	可燃物	68.63	65.91	63.67
カン・ビン ライン	鉄	100.00	100.00	100.00
	アルミ	99.71	99.84	99.75
	カレット（白）	69.59	76.41	61.30
	カレット（茶）	83.47	89.82	74.86
	カレット（その他）	81.01	81.11	80.51
プラボトル ライン	ペットボトル	100.00	100.00	100.00
	その他プラボトル	100.00	100.00	100.00

2. 資源物回収純度調査結果

【令和2年度～4年度】

ライン別	種 別	純 度（％）		
		令和2年度 (年2回平均)	令和3年度 (年2回平均)	令和4年度 (年2回平均)
不燃ごみ ライン	鉄	99.72	99.84	99.74
	アルミ	99.53	99.50	99.30
	不燃物	62.07	51.79	49.92
	可燃物	32.38	32.85	38.76
カン・ビン ライン	鉄	99.92	99.93	99.95
	アルミ	98.31	99.35	99.18
	カレット（白）	99.89	99.85	99.68
	カレット（茶）	99.91	99.79	99.93
	カレット（その他）	99.71	99.65	99.49
プラボトル ライン	ペットボトル	99.98	99.98	100.00
	その他プラボトル	100.00	100.00	100.00

## 別紙 4 貸与機器リスト

### 主な貸与機器

種 類	機 器 名
計測機器	金属製直尺・コンベックス・巻尺・ノギス・内外パス・スコヤ・隙間ゲージ・マイクロメータ・平型水準器・トースカン・機械振動計・騒音計・回転計・ストップウォッチ・サーミスタ温度計・電流計・電圧計・金属肉厚計・クランプ式電流測定装置・絶縁抵抗測定装置・テスタ・接地抵抗計・浸透探傷剤・マルチガスモニター 等
切削・切断工具	卓上ボール盤・両頭グラインダ・バイス付工作台・定盤・パイプネジ切機 等
溶接機器	電気溶接機（200V、100V）・ガス溶断機・高速切断機 等
作業工具類	チェーンブロック・電気ドリル・ハンマ（大・中・小）・モンキレンチ（大・中・小）・パイプレンチ（大・中・小）・スパナ・パイプ万力・プライヤ（コンビネーション・ウォータポンプ）・ペンチ（大・中・小）・トルクレンチ（大・中・小）・ソケットレンチ（大・中・小）・チェーンニング・六角レンチ（大・中・小）・止め輪用スパナ・バー（大・中・小）・ドライバ（普通・貫通・絶縁・電工＋）・組やすり・タガネ・ニッパ（斜め刃・穴付き）・ラチェットレンチ、電工ドラム・スポットライト・組足場・足場板 等
安全用具	空気呼吸器 等
その他	工具管理棚・油圧ジャッキ（6.5t、10t）等

## 別紙5 各種計画書等の内容

学習計画書、運営マニュアル、運営・維持管理計画書、修繕計画書、財務計画書及び事業継続計画書には以下の事項を網羅させること。

### 1. 学習計画書

- ① 事業準備期間における業務実施内容
- ② 事業準備にあたる目標設定及び達成方法
- ③ 実施体制
- ④ スケジュールなど

### 2. 運営マニュアル

- ① 業務実施の概要
  - ・性能発注における業務実施の考え方
  - ・業務内容及び対象施設の概要
  - ・設備リスト及び主要設備の配置図
- ② 運転操作
  - ・本件廃棄物の受入及び処理不適物排除の方法
  - ・運転手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、用役管理等)
  - ・運転操作時の異常時の対応(受入不能、想定トラブルと対応策、緊急作動操作など)
- ③ 維持管理業務
  - ・維持管理手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、想定トラブルと対応策)
  - ・定期修繕の手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、想定トラブルと対応策)
- ④ 環境計測
  - ・排水、騒音、振動等の環境計測の方法・記録・保管・管理
  - ・本件廃棄物搬入量や処理量の算定方法
  - ・計測結果が安定しない場合の対応方法
- ⑤ 記録、連絡報告
  - ・運転日報、点検記録、計器記録の作成要領
  - ・機器故障、故障処置、設備改善、機器補修の記録要領
  - ・設備台帳、補修・履歴の記録要領
  - ・月報、年報の様式
  - ・情報管理
  - ・モニタリング等への協力の考え方
  - ・異常発生時の記録、連絡報告
- ⑥ 電気工作物保安規程
  - ・本件施設における保安事項、考え方、保安手順・体制
  - ・保安に関する異常発生時の対応
- ⑦ 安全衛生管理

- ・安全作業に向けた考え方
- ・作業環境管理、防火管理、防災体制方法
- ・安全衛生の教育訓練
- ・危険物の取扱い、保管
- ・事故発生時の連絡方法、連絡網、処置方法、救出活動方法
- ⑧ 緊急時の対策
  - ・緊急時の対応体制
  - ・緊急時の措置、避難方法
- ⑨ 清掃工場防災マニュアル
- ⑩ 組織・服務規程
  - ・組織図、人員体制、法定資格者
  - ・職務内容、勤務時間
  - ・組織管理、従業員管理、教育研修
- ⑪ 業務改善計画
  - ・従業員への教育・訓練
  - ・継続的に業務の改善を図る方法
  - ・地域への配慮方法など

### 3. 運営維持管理計画書

- ① 業務概要
  - ・業務範囲
- ② 運転計画
  - ・本件廃棄物の受入、処理（搬入日、搬入量、稼働日、処理量）
  - ・ユーティリティ（種類、使用量、在庫管理）
  - ・電力量、太陽光発電量（所内使用量）
- ③ リスクへの対応
  - ・環境計測の項目、方法、スケジュール
- ④ 情報管理計画
  - ・実績報告書（日報、月報、年報等）の作成と管理、台帳管理、設計図書、契約書等の管理
  - ・データ管理など
- ⑤ 組織管理計画
  - ・組織図、人員体制、法定資格者一覧
  - ・職務内容、勤務時間
  - ・組織管理、従業員管理、教育研修
- ⑥ 業務改善計画
  - ・従業員への教育・訓練計画
  - ・業務改善計画など
- ⑦ その他の付帯業務
  - ・保安業務

- ・各機器の清掃、環境整備、衛生管理
- ・薬品等の用役品、予備品、消耗品の購入及び管理
- ・付帯業務にかかる費用内訳

#### 4. 修繕計画書

- ① 定期点検、補修計画
  - ・定期点検、法定点検、自主点検、保安等のスケジュール及び計画書
  - ・補修のスケジュール及び計画書
- ② 特定部品の調達計画
  - ・特定部品の調達計画
- ③ 計画修繕
  - ・定期修繕以外の修繕計画

#### 5. 財務計画書

- ① 運営維持管理費の内訳
  - ・運転経費
  - ・定期点検・補修費
  - ・人件費
  - ・その他経費
  - ・付帯業務にかかる経費
- ② ①にかかる積算根拠
- ③ 事業収支計画

#### 6. 事業継続計画書

- ① 災害・疾病・システム障害等の緊急事態別対応方法、事業継続可否の判断基準
- ② 新型コロナウイルス等の感染症対策計画

## 別紙 6 現行の清掃等作業基準表

項目	作業内容等	作業頻度
植栽管理	草刈	3回/年
	芝刈り	2回/年
	消毒	2回/年
	花壇植替	4回/年
	樹木剪定	1回/年
その他	清掃等	適宜

### 1. 床の日常清掃

※床材については、変更する場合があります。

区 分	項 目	清掃周期
1. 玄関ホール	硬質床 95 m <sup>2</sup>	週 5 回
2. 事務室・会議室等	弾性床又は硬質床 579 m <sup>2</sup>	週 1 回
	繊維床 969 m <sup>2</sup>	週 1 回
3. 廊下・ホール	弾性床又は硬質床 344 m <sup>2</sup>	週 5 回
4. 見学者ホール	弾性床 163 m <sup>2</sup>	週 3 回
5. 便所及び洗面所	弾性床又は硬質床 91 m <sup>2</sup>	週 5 回
6. 湯沸室及び洗濯乾燥室	弾性床 29 m <sup>2</sup>	週 1 回
7. 階段	弾性床又は硬質床 31 m <sup>2</sup>	週 3 回
8. エレベーター	弾性床 1 台	週 3 回
計	2, 301 m <sup>2</sup>	

### 2. 床以外の日常清掃

区 分	項 目	清掃周期
1. 玄関ホール	95 m <sup>2</sup>	週 5 回
2. 事務室・会議室等	579 m <sup>2</sup>	週 1 回
	969 m <sup>2</sup>	週 1 回
3. 廊下・ホール	344 m <sup>3</sup>	週 5 回
4. 見学者ホール	163 m <sup>2</sup>	週 3 回
5. 便所及び洗面所	91 m <sup>2</sup>	週 5 回
6. 湯沸室及び洗濯乾燥室	29 m <sup>2</sup>	週 1 回
7. 階段	31 m <sup>2</sup>	週 3 回
8. エレベーター	除塵（扉溝） 1 台	週 3 回
計	2, 301 m <sup>2</sup>	

### 3. 日常巡回清掃

区 分	項 目	清掃周期
1. 玄関ホール	95 m <sup>2</sup>	週 5 回
2. 便所及び洗面所	91 m <sup>2</sup>	週 5 回
3. 湯沸室	16 m <sup>2</sup>	週 1 回
計	202 m <sup>2</sup>	

### 4. 床の定期清掃

区 分	項 目	清掃周期
1. 玄関ホール	硬質床 95 m <sup>2</sup>	年 2 回
2. 事務室・会議室	弾性床 579 m <sup>2</sup>	年 2 回
3. 廊下・ホール	弾性床 硬質床 344 m <sup>2</sup>	年 2 回
4. 便所及び洗面所	硬質床 91 m <sup>2</sup>	年 2 回
5. 見学者ホール	弾性床 163 m <sup>2</sup>	年 2 回
6. 階段	弾性床又は硬質床 31 m <sup>2</sup>	年 2 回
計	1,303 m <sup>2</sup>	

### 5. 窓ガラス、ジュータン清掃

窓種類	窓床面積	清掃周期
1. 窓ガラス清掃	316 m <sup>2</sup>	年 1 回
2. ジュータン清掃	969 m <sup>2</sup>	年 2 回
計	1,285 m <sup>2</sup>	

### 6. 処理棟

区 分	項 目	清掃周期
2 階 会議室 他	弾性床等 491 m <sup>2</sup>	週 3 回
2 階 浴室、便所等	硬質床、弾性床 111 m <sup>2</sup>	週 5 回
計量棟	弾性床 13 m <sup>2</sup>	週 2 回
計	615 m <sup>2</sup>	

### 7. 処理棟 ワックス

区 分	項 目	清掃周期
2 階 会議室 他	弾性床 400 m <sup>2</sup>	年 2 回
計	400 m <sup>2</sup>	

別紙 7 市が実施する環境計測

測定対象物	測定内容	サンプリング場所	頻度
周辺環境	振動	本件施設敷地境界	1 回／年
	騒音		
	悪臭		
	水質	本件施設排水口	
	粉じん	排気口	



別紙 8 事業に係るリスク分担

リスク項目		概要	分担	
			市	受注者
共通	制度・法令リスク	関連法令等・許認可の変更等に係るリスク	○	
	税制リスク	受注者の利益に課せられる税制度の変更（例；法人税等）、新税創設に伴うリスク		○
		上記以外の税制度の変更、新税創設に伴うリスク	○	
	物価変動リスク	一定の範囲内（1.5%）での物価変動に係るリスク		○
		一定の範囲内（1.5%）を超えた物価変動に係るリスク	○	
	政治リスク	政策方針の変更等による事業の停止・変更に係るリスク	○	
	不可抗力リスク	天災等により事業の実施が不可能となる場合のリスク	○	
		一定の範囲（1%）内		○
		一定の範囲（1%）外	○	
	住民反対リスク	受注者の責めに帰すべき事由による場合のリスク		○
		上記以外の場合のリスク	○	
運営段階	性能リスク 委託費超過リスク	提示条件の不備や、要求変更等、市の責めに帰すべき事由による場合のリスク	○	
		その他施設の運営維持管理業務において、本事業契約に規定する仕様及び性能の未達成等、受注者の責めに帰すべき事由による場合のリスク		○
	施設・設備 損傷リスク	事故や火災等により施設が破損した場合のリスク		○
		第三者の責めに帰すべき事由により施設が破損した場合のリスク	○	
	不適正ごみ 混入リスク	受注者の善良なる管理者の注意義務違反の場合のリスク		○
		受注者の善良なる管理者の注意義務を以ってしても排除できない場合のリスク	○	
	新技術等の導入	技術革新に伴い新技術等を導入した場合において、市の責めに帰すべき事由により運営コストが増大した場合のリスク	○	
		上記以外の場合のリスク		○
	ごみ量変動リスク	搬入する本件廃棄物のごみ量が契約で規定した範囲を著しく逸脱した場合のリスク	○	
	事業終了段階での 施設の性能確保 ※ 契約期間満了時を除く	事業契約解除後一年間に亘る施設の性能確保が未達の場合のリスク		○

※ ごみ量については、上限を本件施設の受入可能量とし、下限を 2,500 t/年として、これを逸脱した際は委託費について協議を行う。なお、令和 19 年度については、新施設の試運転に伴い本件施設での処理量が予想より減少する可能性があるが、上記に則り必要に応じて協議を行う。

## 別紙 9 本件施設の主な法定点検とその直近実施時期

本件施設の主な法定点検とその直近実施時期は、以下に示すとおりである。

設備名等	関連法令等	期間	直近実施年月 (令和5年3月末時点)
ごみ計量機	定期検査（計量法）	2年毎	令和3年10月
	自主検査	2年毎	令和4年10月
受変電設備 (高圧)	定期点検（電気事業法、保安規程）	保安規程	令和5年3月
消防用設備	機器点検（消防法）	半年毎	令和4年8月
	総合点検（消防法）	1年毎	令和5年2月
作業環境測定 (吸入性粉塵)	労働安全衛生法	半年毎	令和5年2月
エレベータ	定期検査（建築基準法）	1年毎	令和5年2月
空調機漏洩点検	フロン排出抑制法	3年毎	令和2年5月
車庫棟・ストックヤード棟	定期調査（建築基準法）	3年毎	令和3年1月
浄化槽	法定検査（浄化槽法）	1年毎	令和4年8月
生活受水槽	水槽の清掃及び定期検査（水道法）	1年毎	令和4年7月

# 別紙 10 本件施設における人員配置一覧

## 【令和5年3月末時点の橿原市の人員配置】

		橿原市
人員配置合計		資源循環課長：1名 課長補佐：1名 副主幹：2名 統括調整員：1名 統括技能員：2名 リサイクル管理係：1名 副統括：1名 副主任：1名 会計年度任用職員：3名 計 13名
対象施設 又は 対象業務	ごみ受入業務	施設係：5名 ・計量受付・手数料徴収・可燃 残渣運搬
	ごみ処理施設	リサイクル管理係：6名 ・施設管理業務

## 【平成25年1月（長期包括運営委託事業開始前）時点の橿原市及び委託業者の人員配置】

		橿原市	委託業者
人員配置合計		環境保全課長：1名 課長補佐：2名 統括調整員：3名 温暖化対策係：2名 （内、統括調整員：1名） リサイクル業務係：2名 （内、統括調整員：1名） 分別推進係：4名 （内、統括調整員：1名、 臨時職員：2名） 計 11名	総括責任者：1名 副責任者：1名 運転班員：30名 計 32名
対象施設 又は 対象業務	ごみ受入業務		委託業者：7名 ・計量受付・手数料徴収：2名 ・プラットホーム監視・受入：5名
	ごみ処理施設	リサイクル業務係：1名＋統括調 整員：1名＝2名 ・施設保全業務 ・施設管理業務	委託業者：25名 ・施設運転管理業務 ・メンテナンス業務

※（ ）内は兼任を示す。

## 別紙 11 事業担当課以外の居室利用

各期間を以下のとおり定義する。

執務室利用開始前：運営期間開始時において貸館業務利用を行っている期間。

執務室利用開始後：執務室利用が開始された日以降の期間。

貸館業務利用から執務室利用に移行する際に発生する改修工事・移転期間を含み、この期間の事業担当課以外の利用者の利用面積は0とする。

### 1. 執務室利用開始前（貸館業務利用）

#### 【利用範囲一覧】

部屋名称		床面積 (㎡)	貸館業務利用範囲 固定費 2 の算定対象範囲 (対象：○)
3F	研修室 (A) (B)	315	○
	会議室2	125	○
2F	紙すき工房室	256	○
	情報活動広報スペース	180	—
	映像スペース	91	—
1F	会議室1	65	○
	ガラス工房研修室	65	○
	ガラス工房室	128	○

#### 【貸館業務利用範囲に係る光熱水使用見込量（年間）】

項目	貸館業務	備考
水道	40 m <sup>3</sup> /年	令和2年度・令和3年度実績より想定算出（2カ年平均）
ガス(一般用)	26 m <sup>3</sup> /年	
ガス(空調用)	5,753 m <sup>3</sup> /年	
電力量	24,043 kWh/年	

## 2. 執務室利用開始後

### 【利用範囲一覧】

部屋名称		床面積 (m <sup>2</sup> )	利用範囲 (事業担当課以外の利用者)	
			利用面積 (m <sup>2</sup> )	固定費 3 の 算定対象範囲 (対象：○)
3F	研修室 (A) (B)	315	234※	○
	会議室2	125	—	—
2F	紙すき工房室	256	256	○
	情報活動広報スペース	180	196※	○
	映像スペース	91		
1F	会議室1	65	—	—
	ガラス工房研修室	65	193	○
	ガラス工房室	128		

※ 事業担当課以外の利用者の利用面積に含まない部分は倉庫等に改修・利用する予定。

### 【執務室利用開始前後の光熱水使用見込量の変化（年間）】

項目	光熱水使用見込量			備考
	執務室利用開始前※ <sup>1</sup>	→	執務室利用開始後※ <sup>2</sup>	
水道	40m <sup>3</sup> /年	→	516 m <sup>3</sup> /年	—
ガス(一般用)	26 m <sup>3</sup> /年	→	164 m <sup>3</sup> /年	—
ガス(空調用)	5,753 m <sup>3</sup> /年	→	—	※3
電力量	24,043 kWh/年	→	194,400 kWh/年	※3
電力	0 kW	→	38 kW	デマンド上昇分

※1 令和2年度・令和3年度実績より想定算出（2カ年平均）

※2 利用予定部署の令和3年度使用実績より算出

※3 執務室として利用した時のガス（空調用）の使用量は実績がなく、利用予定部署は電気式の空調を使用している。そのため、利用時のガス（空調用）の費用は電力量に換算されているものとして、利用予定部署の令和3年度使用実績をもとに費用を想定すること。